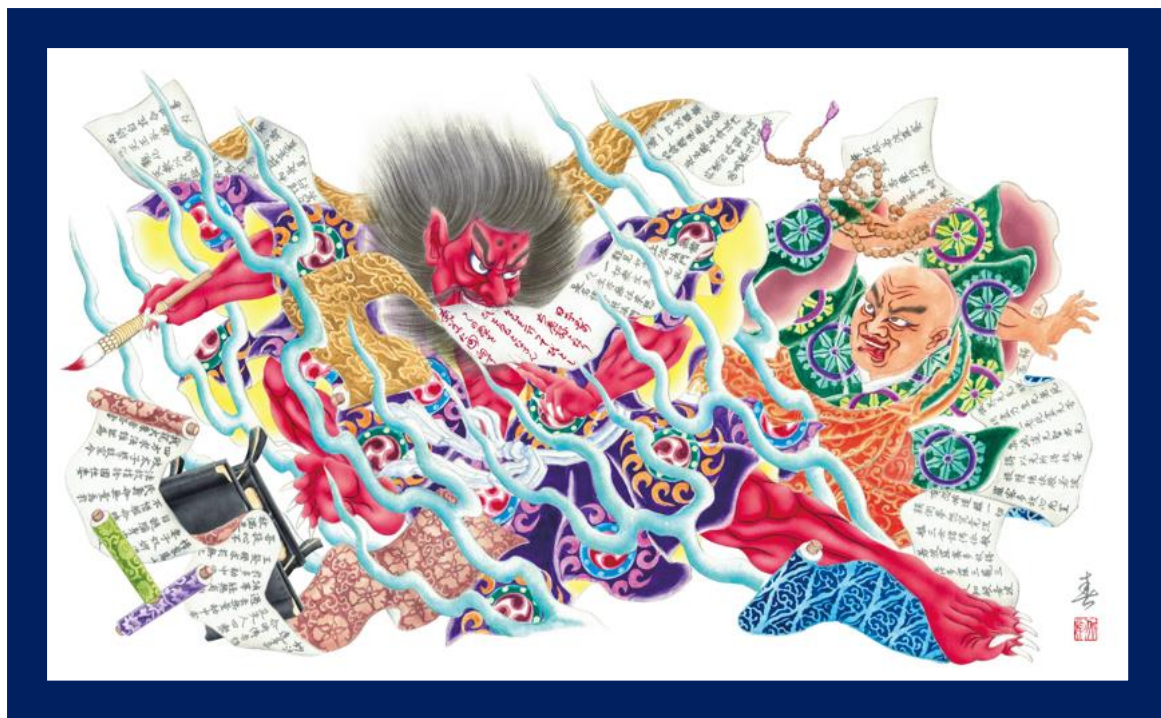


(お知らせ)

2025年4月25日  
東日本電信電話株式会社 青森支店

## 2025年度青森ねぶた祭に出陣する、NTTグループねぶたの題材・下絵が完成

東日本電信電話株式会社青森支店(支店長 磯崎 崇)は、2025年度も青森ねぶた祭に「NTTグループねぶた」として65回目の出陣をします。この度、題材と下絵が完成しましたのでお知らせいたします。



制作者 北村 春一

す と く い ん      け っ し ょ ご ぶ だ い じ ょ う き ょ う  
崇 徳 院 「 血 書 五 部 大 乗 経 」

平安時代中期、崇徳院は即位後政治的な対立が激化し、保元の乱で敗れ流罪となり、二度と京都に戻ることはできなかった。

崇徳院は乱により命を落とした者の慰霊のため、「五部大乘経」を写経し、京都の石清水八幡宮に奉納するよう使者に託したが、弟である後白河院によって送り返されてしまった。

孤独と絶望の中、自らの血で呪詛の言葉を書きつけ、ついには天狗と化したと伝えられている。

崇徳院崩御後、様々な不幸や災害が相次ぎ怨霊伝説へと結び付けられ、人々に恐れられるようになったが、現代では悪縁を断ち良縁を結ぶ守護神として祀られている。

我々は、歴史の中の人々の苦しみを忘れず過去の教訓を生かし、よりよい未来へとつなぐ責任がある。

ねぶたは怨霊と化した崇徳院の無念の思いを表現し、怒りや悲しみがいつか癒され、皆に穏やかな平和が訪れることを願う。